

にっこにっこびん



としょかん がっこう
図書館だより 2月号

せたがやくりつふたこたまがわしょうがっこう
世田谷区立二子玉川小学校

がつ にち ひ
2月22日はねこの日！



2月22日は「にゃんにゃんにゃん」と読めることから「ねこの日」です。図書館には、ねこの本がたくさんあります。ねこが主人公の物語やねこの図鑑、ねこの飼い方がわかる本などいろいろな内容のねこの本がありますよ。図書館を歩いて、どの棚にどんな内容のねこの本があるのか探してみてください。

おしらせ

- ・今年度の本の貸出は2月28日(金)で終わります。
- ・読書つなとり合戦の参加は、2月28日(金)までです。本を読んで参加賞をもらおう！



世界のふしぎなことわざ

★「うそをつくのが好きな者は盗むのも好き」

(ブルガリアのことわざ)



★「うそつきは泥棒のはじまり」

(にている日本のことわざ)

意味：へいきでうそをつくようになると、やがて他人のものに手を出ようになります。だから、うそはけってつかないようにということわざです。

【参考】『世界のふしぎなことわざ図鑑』

著/北村孝一 KADOKAWA



おすすめのほん



今月はねこの本を紹介します。

『あたしもびょうきになりたいな』

さく/フアンツ・ブランデンベルク え/アリ
キ・ブランデンベルク 訳/ふくもとゆみこ

いもうとのエドワードがびょうきになり、みんながエドワードのお世わをしています。エリザベスはおもいました。あたしもびょうきになりたいな。＜偕成社＞E あ★

『ねこの看護師ラディ』

文/渕上サトリノ 絵/上杉忠弘

ラディはまいにち、しんさつしつにいきます。はこばれてくるどうぶつたちによりそうために。ラディはきょうもはたらいています。ラディは、ほんとうにいるねこです。＜講談社＞E ね★

『ネコのくらし』 著/吉野信

ある日、猫が生まれました。名前はシーザーです。シーザーが生まれた日から大人になるまでがたくさんの写真と文で書かれています。猫のくらしと猫の気持ちがわかる本です。＜あかね書房＞489 よ★★

『にゃんにゃん探偵団』

作/杉山亮 絵/小松良佳

本屋のはなえさんは、黒星警部にたのまれて、猫カポネと一緒にいつのまにやら探偵のまねごとをしています。カポネのおすすめの本コーナーもありますよ。＜偕成社＞913 す★★

『北里大学獣医学部犬部』

作/片野ゆか 絵/ほづみりや

犬部とは、北里大学に通う大学生が行き場をなくした犬や猫を保護して新しい飼い主を探す活動のことです。犬や猫だけでなくうさぎたちとも向きあう、大学生の実話です。

＜ポプラ社＞64 さ★★★★

『シートン動物記 下町のネコキティ』

文・絵/アーネスト・T・シートン

訳・解説/今泉吉晴

裏通りで生まれたキティは、ひとりで生きていました。大人になったキティは、人間に捕まえられ、ペットの品評会にだされることになります。＜童心社＞480 し★★★★



★低学年から ★★中学年から ★★★高学年から